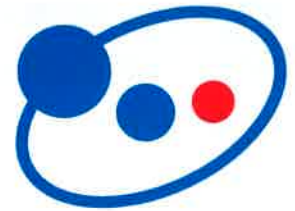


# ヒューマンハーバー



Human Harbor

11・12月号 協同組合ハイコープ組合報  
Vol.217 2014年(平成26年)12月8日(月)発行



◆11/15 長野地区本部主催・本部共催講演会  
「企業人の健康講座」



◆10/11～12 山梨地区本部主催  
第10回甲斐路100km歩け歩け大会 スタート5分前

## CONTENTS

巻頭	1
長野地区本部主催・本部共催 講演会報告 「いつまでも老いない脳をつくるには」 講演会レポート 熊澤 祥吉	2
山梨地区本部事業報告 第10回甲斐路100km歩け歩け大会	
「大会報告」実行委員長 向山 明好	2
参加レポート 志村 有司	3
参加レポート 秋山 奈織美	4
「ヨーロッパの中小製造業から学んだこと」(その3) 春日井アルマイト工業(有) 堀内 哲	4
写真で綴る関連事業・スケジュール	8
PETIT情報・編集後記	8

## 新政権に望むブレない政治

11月21日、衆議院が解散しました。アベノミクス解散、安倍自己チュー解散、大義なき解散等いろいろいわれていますが、首相特権で解散となり、12月2日公示され、選挙戦に突入。いかにも年末の慌ただしいときに、慌ただしい選挙となったものです。

今回の解散について大手某紙がこんな論説記事を掲載しています。『..いま安倍首相と自民党は愚直という姿勢を忘れて、目先の政権運営に汲々としている。正攻法の政治を取り戻すことはできないのだろうか。一方野党は、突然の解散にたじろいでいる場合ではない。20年前、与野党は政治改革に取り組み、今の政治選挙制度が定着、与党が油断すれば、政権がひっくり変える制度である。'09年、'012年には、実際に政権交代が起きた。野党各党が政策と候補者の調整を進めて自民党に対峙すれば緊張感のある政治状況を作りうる。政治改革以来の流れを止めてしまうのか、ここで踏んばるのか。有権者が与野党に目を凝らす時だ』、と。

政治的なこの空白となっている今日、世界のマーケットは激しく乱高下、通貨安競争が激化し、また日本の国債評価が1段階格下げとなり不安材料が増えています。14日投開票、新しく選ばれる政権には、危うい政治、危うい世相を一掃し、しっかり日本の将来を見つめた経済産業政策、金融政策、財政改革、教育改革を示し、豊かに安心して暮らせる社会づくりに愚直に取り組んでいただきたいものです。